

流域タイムラインについて

「流域タイムラインの作成・活用」と「WEB会議ツールによる危機感の共有」

＜河川・気象の行動のきっかけとなる情報をまとめた流域タイムラインを作成・活用＞

- 河川・気象情報の提供やこれを受けた市区町村による避難情報の発令など基本的な行動を時系列で整理するタイムラインを、流域などの単位で作成。
- 河川の増水・氾濫時の更なる円滑な防災対応や訓練等に活用することで振り返りによる改善を実施。（不断の改善により防災対応をブラッシュアップ）

＜台風接近時等のWEB会議ツールによる危機感の共有＞

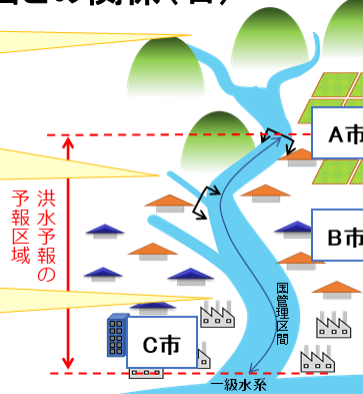
- 市区町村による避難情報発令などの防災対応を支援するため、河川事務所、気象台のほか、都道府県の河川・砂防部局とも連携し、WEB会議ツールを活用することで防災情報や危機感の共有、流域自治体の対応状況等を関係者で一斉に共有

■ 流域タイムラインのイメージ(下)、水害タイムラインと法定計画との関係(右)

流域平均の雨量の実況や予測から数日前から警戒感を高める(気象台)

支川等の氾濫のおそれ、土砂災害の危険性について共有(気象台・都道府県河川・砂防部局)

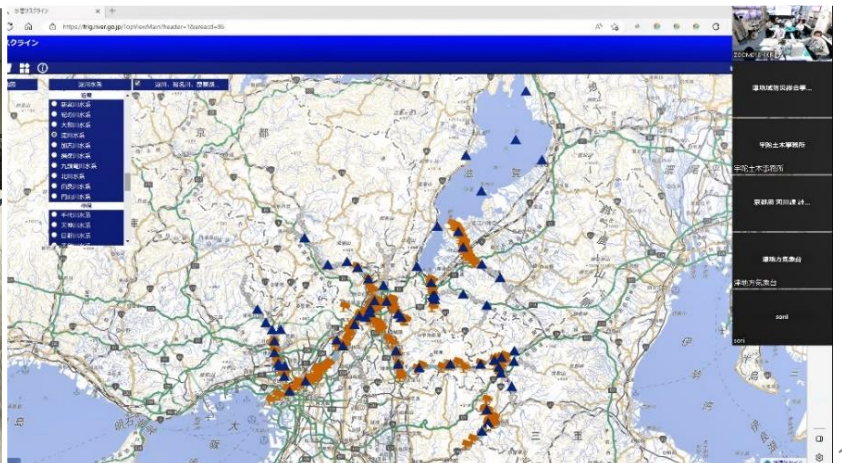
河川水位の実況や予測から氾濫のおそれ共有(河川事務所・気象台)



領域	法定計画等 (策定主体)	タイムライン
流域	国土交通省防災業務計画等 (地方整備局等、事務所等)	流域タイムライン
市区町村	地域防災計画 (市区町村)	市区町村タイムライン
地区	地区防災計画 (自治会、自主防災組織)	コミュニティタイムライン
個人、事業者等	避難確保計画(要配慮者利用施設) 個別避難計画(要配慮者)	マイ・タイムライン

「水防テレビコミュニケーション会議を開催！」 令和5年6月2日(金)13時15分～

“木津川流域域タイムライン(案)”に基づき、台風2号及び前線の雨による氾濫注意水位到達を見据えた、水防テレビコミュニケーション会議を開催。



▲WEB会議の様子(左)と流域で共有する水害リスクライン(右)

本タイムラインは、想定最大規模降雨(加茂地点上流域の12時間総雨量358mm、島ヶ原地点上流域の9時間総雨量360mm、家野地点上流域の9時間総雨量380mm)による事象を想定しており、実際の気象状況や台風進路により時間軸は異なります。

—————→ 情報伝達の流れ(事務所)
 - - - - -→ 情報伝達の流れ(事務所以外)

本タイムラインは（最終改正年月）時点の案であり、今後の災害や訓練等を通じて、随時、改善や見直しを行うことを前提としている。

■各観測所における基準水位

観測所名		水防団待機水位	氾濫注意水位	避難判断水位	氾濫危険水位	氾濫発生
比土	(木津川)	2.00m	3.19m	3.19m	3.68m	
荒木	(服部川)	1.00m	1.80m	1.80m	2.00m	
佐那具	(柘植川)	2.20m	3.70m	3.70m	4.20m	
岩倉	(木津川)	4.50m	6.00m	6.70m	7.70m	10.50m
西山	(宇陀川)	1.30m	1.70m	1.70m	1.80m	
岩崎	(芳野川)	0.90m	1.90m	1.90m	2.00m	
萩原	(宇陀川)	1.70m	2.80m	3.40m	4.20m	
安部田(機構)	(宇陀川)	2.00m	3.50m	—	—	7.30m
名張	(名張川)	4.50m	6.00m	6.80m	7.60m	7.99m

